

温湿度測定記録表

測定場所と基準を書き入れ、測定した温度/湿度等を下表に沿って記入しましょう。
もし測定温度/湿度が基準から外れていた場合は、備考欄に対応を記入します。

検証者

測定場所		基準	※温度のみ/湿度のみも可	
測定日	測定結果	測定者	備考（異常時の対応）	
1	始業前 ----- 終業後			
2	始業前 ----- 終業後			
3	始業前 ----- 終業後			
4	始業前 ----- 終業後			
5	始業前 ----- 終業後			
6	始業前 ----- 終業後			
7	始業前 ----- 終業後			
8	始業前 ----- 終業後			
9	始業前 ----- 終業後			
10	始業前 ----- 終業後			
11	始業前 ----- 終業後			
12	始業前 ----- 終業後			
13	始業前 ----- 終業後			
14	始業前 ----- 終業後			
15	始業前 ----- 終業後			
16	始業前 ----- 終業後			
17	始業前 ----- 終業後			
18	始業前 ----- 終業後			
19	始業前 ----- 終業後			
20	始業前 ----- 終業後			
21	始業前 ----- 終業後			
22	始業前 ----- 終業後			
23	始業前 ----- 終業後			
24	始業前 ----- 終業後			
25	始業前 ----- 終業後			
26	始業前 ----- 終業後			
27	始業前 ----- 終業後			
28	始業前 ----- 終業後			
29	始業前 ----- 終業後			
30	始業前 ----- 終業後			
31	始業前 ----- 終業後			

清掃実施記録表

清掃の実施を記録できる様式です。
 事前に場所と清掃頻度を書き入れておき、清掃を実施した際に実施日へ清掃した者の名前を記入します。
 もし清掃時に異常を発見した場合は備考欄にその内容と、必要に応じて対応を記入しましょう。

検証者

場所	清掃頻度	実施日																															備考 (異常時の対応)						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							

受入記録表

受入原材料ごとに下表の項目を記入して記録します。
受入日欄はその日最後の受入原材料で区切り、受入日が同じものをわかるようにします。
受入で表面温度や包装の破損等に問題があった場合は、備考欄に対応を記入します。

検証者

受入日	納入業者	原材料名	数量	表面温度	合否	備考（否の場合の対応）
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	
				℃	合・否	

食品取扱者の衛生記録表

年 月 第 週

食品取扱者に関する事項を記録できる様式です。
最初につながる週のものを記録名下に記入し、下記の事項が守れているかを確認して記入します。
異常があった場合には備考欄に日付とその内容と、必要に応じて対応を記入しましょう。

- ・服装：作業着、帽子、マスク等、決められた服装を着用し、毛髪や爪に問題なければ「○」を記入
- ・体調：黄痘、腹痛、下痢、発熱、吐気・嘔吐、耳や目・鼻からの病的な分泌物がなければ「○」を記入
- ・ケガ：手にやけど、切り傷等で感染が疑われるものがなければ「○」を記入

※ 外傷があった場合でも、耐水性の保護がされていれば「○」

・私物：腕時計、指輪、ネックレス等、許可のない私物を持っていないければ「○」を記入

検証者

食品取扱者氏名	月			火			水			木			金			土			日			備考 (異常時の対応)	
	服装	体調	ケガ	私物	服装	体調	ケガ	私物	服装	体調	ケガ	私物	服装	体調	ケガ	私物	服装	体調	ケガ	私物			

殺菌記録表

現場にて殺菌を適切に実施できるよう、あらかじめ基準欄を記入します。
現場では殺菌作業時に下表に沿って測定した値等を記入します。
もし測定結果にて異常があった場合は、備考欄に製品数量と対応を記入しましょう。

検証者

基準	濃度	
	時間	

確認日	確認者	製品名/ロット	濃度		時間	備考 (基準に満たなかった製品数量とその対応)
			作業前	作業後		
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						

金属検出記録表

テストピースの大きさを間違わないよう、あらかじめテストピースの大きさを基準欄へ記入します。現場では金属検出機へテストピースを通し、問題がなければ「可」に○を入れ、もしテストピースが排除/感知されない場合には「不可」に○を入れて備考へ対応を記入します。製品にて金属が検知された場合、備考欄には検知された製品に取った対応も合わせて記入します。

検証者

基準	
-----------	--

確認日	確認者	製品名/ロット	テストピースの感知・排除		金属が検出された製品数	備考 (感知・排除異常、金属検出製品への対応等)
			通過前	通過後		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		
/			可・不可	可・不可		

加熱温度記録表

現場にて加熱の基準を確認できるよう、あらかじめ基準欄を記入します。
現場では下表に沿って、測定した値等を記入します。
もし測定結果にて異常があった場合は、備考欄に製品にとった対応を記入しましょう。

検証者

基準	
----	--

確認日	確認者	製品名/ロット	測定結果	測定後加熱時間	備考 (加熱不足な製品への対応)
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		

記載項目：3-3. 重要ポイント 重要ポイント04 加熱時の製品中心温度と加熱時間

冷却温度記録表

現場にて冷却の基準を確認できるよう、あらかじめ基準欄を記入します。
現場では下表に沿って、測定した値等を記入します。
もし測定結果にて異常があった場合は、備考欄に製品にとった対応を記入しましょう。

検証者

基準	
----	--

確認日	確認者	製品名/ロット	測定結果	冷却にかかった時間	備考 (基準内の冷却ができなかった場合の対応)
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		
/			°C		